

ポリスチレン サットフォーム・サットウォール プレカット工法



Tanimoto Chemicals Co., Ltd.

サットウォールプレカット工法

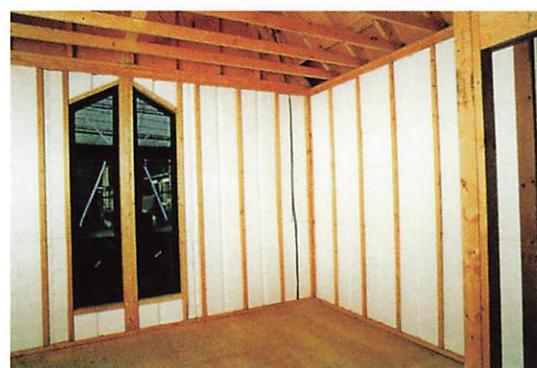
サットウォールプレカット工法とはこれまで困難だった木造住宅の壁内にポリスチレンフォーム（ビーズ法ポリスチレンフォーム又は押出法ポリスチレンフォーム）をプレカットし、隙間なく充填する断熱工法です。

住宅の建築図面に合わせ、設計図通りにプレカットした断熱材を建築現場に納入し、当社スタッフが充填断熱の施工を致します。

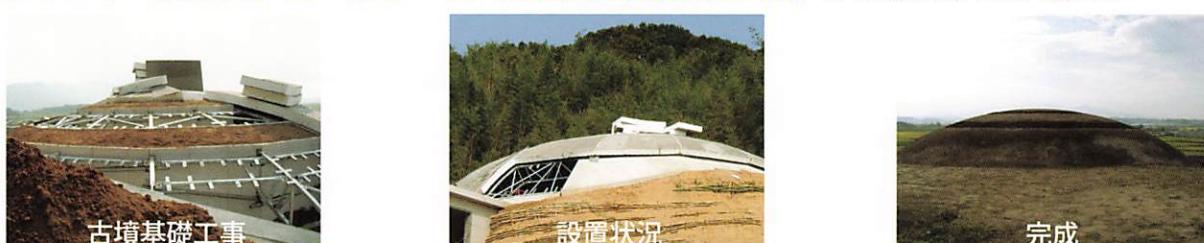
建築現場での残材もなく、また困難な電気配線や配管箇所の加工なども当社スタッフが現場にて対応いたしますので、高品質な充填断熱が可能となります。

谷本化成が開発したポリスチレンフォーム断熱材

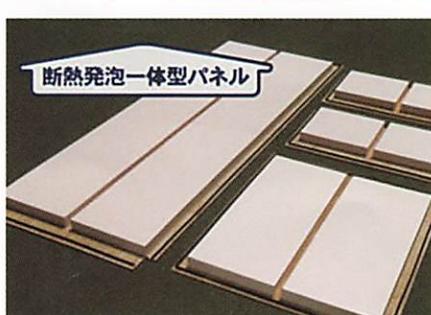
■1997年 スライド式断熱材 特許第3055095号



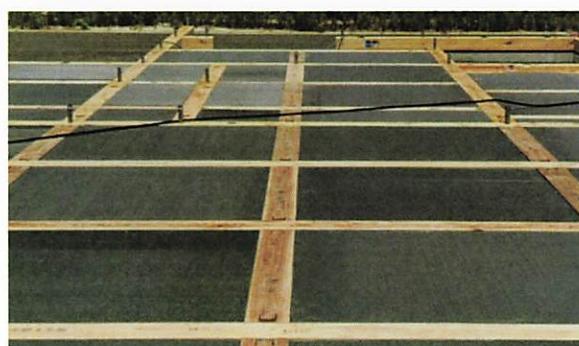
■2005年 発泡スチロールドーム（永安寺古墳保存整備）※当社開発商品ではありません



■2006年 木造住宅用壁パネル サットパネル21 製造・販売



■2012年 木造住宅用床断熱材プレカット製品 製造・販売



プレカット工場拠点

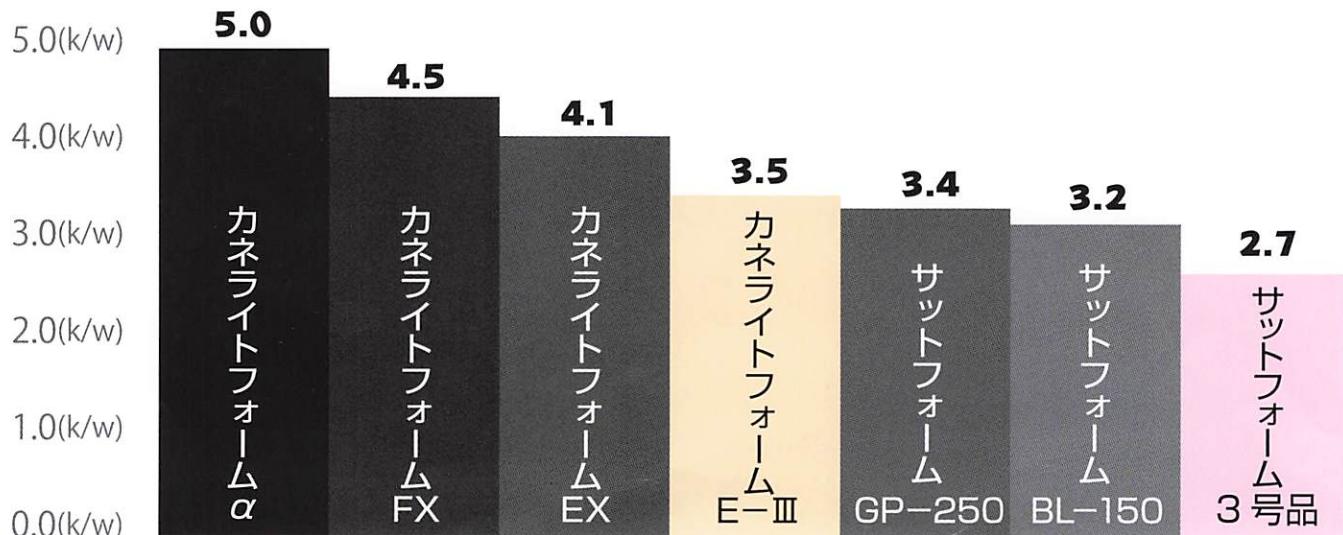
本社	〒664-0023	兵庫県伊丹市中野西2丁目192番 TEL(072)772-0607・FAX 772-0608・ E-mail tanimoto@tanimotokasei.co.jp
九州営業所	〒834-0122	福岡県八女郡広川町大字一條字牟田1213番1 TEL(0942)65-5455 FAX 65-5785 E-mail kurume@tanimotokasei.co.jp
四国営業所	〒765-0073	香川県善通寺市中村町字宮東107番地1 TEL(0877)64-1333 FAX 64-1334 E-mail shikoku@tanimotokasei.co.jp
中国営業所	〒722-0326	広島県尾道市御調町岩根270番地 TEL(0848)77-0115 FAX 77-0116 E-mail hiroshima@tanimotokasei.co.jp
西脇工場	〒677-0024	兵庫県西脇市鳴408番地1
八王子工場	〒193-0834	東京都八王子市東浅川町530-
栃木佐野工場	〒327-0847	栃木県佐野市天神町969-3 ✓



サットウォールプレカット工法の材料一覧（原料はすべてポリスチレンフォーム）

商品名	原料名	熱伝導率(W/(m.k))	色
サットフォーム3号品	ビーズ法ポリスチレンフォーム	0.037	ピンク
サットフォーム BL-150	ビーズ法ポリスチレンフォーム	0.031	黒
サットフォーム GP-250	ビーズ法ポリスチレンフォーム	0.029	黒
カネライトフォーム E-III	押出法ポリスチレンフォーム3種	0.028	アイボリー
カネライトフォーム EX	押出法ポリスチレンフォーム3種	0.024	黒
カネライトフォーム FX	押出法ポリスチレンフォーム3種	0.022	黒
カネライトフォームα	押出法ポリスチレンフォーム3種	0.020	黒

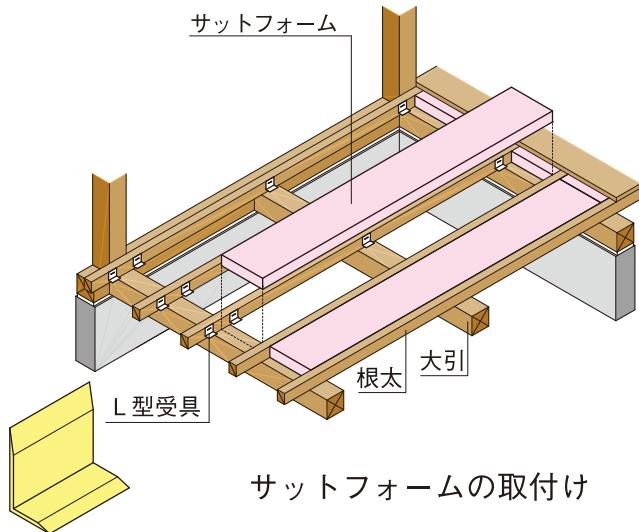
各種 100 mm 厚を使用した場合の熱抵抗値





サットフォーム床用（根太間用）寸法規格

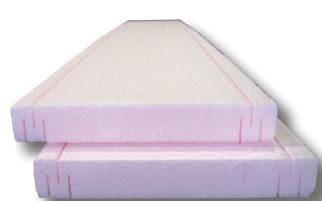
根太間用サットフォームはスリット加工ありとスリット加工なしがあります。



サットフォームの取付け



スリット無し



スリット有り

品番記入例

厚さ 40 (N) 263

品番記入例

厚さ 40 (A) 265

根太ピッチ 303 の規格寸法

根太ピッチ (mm)	断熱材厚さ	根太巾 (mm)	サットフォーム スリットなし (mm)	サットフォーム スリットあり (mm)	長さ (mm)
303	15mm ~ 60mm (5mm 間隔)	40	(N) 263	(A) 265	910 & 1820
		45	(N) 258	(A) 260	
		50	(N) 253	(A) 255	
		55	(N) 248	(A) 250	
		60	(N) 243	(A) 245	

※スリットありはスリットなし+巾 2mm

根太ピッチ 364 の規格寸法

根太ピッチ (mm)	断熱材厚さ	根太巾 (mm)	サットフォーム スリットなし (mm)	サットフォーム スリットあり (mm)	長さ (mm)
364	15mm ~ 60mm (5mm 間隔)	40	(N) 324	(A) 326	910 & 1820
		45	(N) 319	(A) 321	
		50	(N) 314	(A) 316	
		55	(N) 309	(A) 311	
		60	(N) 304	(A) 306	

※スリットありはスリットなし+巾 2mm

根太ピッチ 455 の規格寸法

根太ピッチ (mm)	断熱材厚さ	根太巾 (mm)	サットフォーム スリットなし (mm)	サットフォーム スリットあり (mm)	長さ (mm)
455	15mm ~ 60mm (5mm 間隔)	40	(N) 415	(A) 417	910 & 1820
		45	(N) 410	(A) 412	
		50	(N) 405	(A) 407	
		55	(N) 400	(A) 402	
		60	(N) 395	(A) 397	

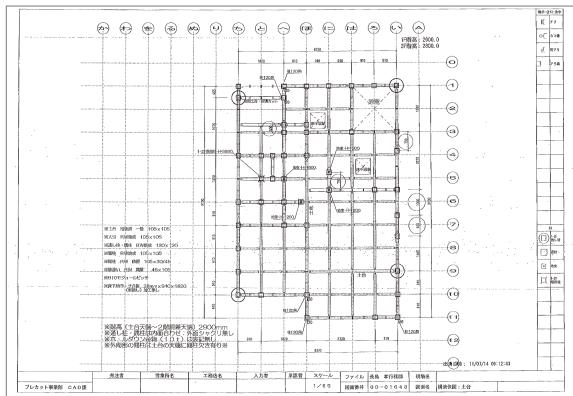
※スリットありはスリットなし+巾 2mm

※ 長さ 1000mm & 2000mm の対応も可能です。

サットフォーム床用（根太レス工法）寸法規格

根太レス工法は図面より当社設計士が寸法を読み取り断熱材をプレカットします。

① 1F 床伏図



② プレカット図

	W	H	枚
A	805	805	53
B	805	350	10
C	805	505	1
D	805	195	3

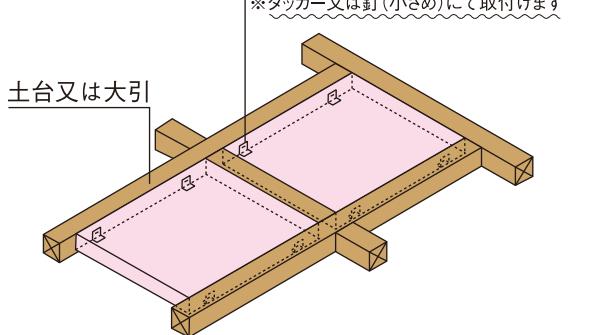
③ プレカット寸法&必要数

床伏図よりプレカット寸法を表示した図面とプレカットを施した断熱材を納入
※断熱材納入まで約 1 週間

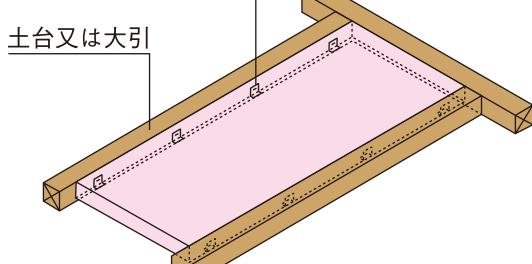
断熱材厚さ 40mm ~ 125mm (5mm 間隔)
※ 2F 外気床用



完成図

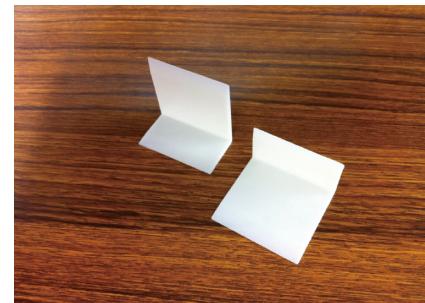


樹脂受具 3×3板：2箇所
※タッカー又は釘(小さめ)にて取付けます



樹脂受具 3×6板：長手方向に4箇所

床の施工（根太レス工法）



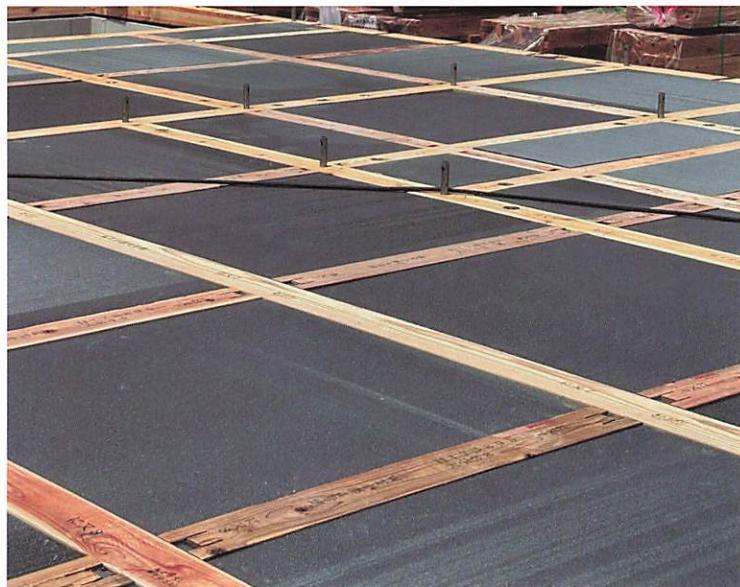
受具



壁充填断熱のみで、

断熱等級6レベルの施工が可能に

(※サッシグレード、他箇所の断熱仕様による)



サットフォーム GP250

← 100 mm 厚品使用

熱抵抗値 3.4(k/w)

↓ エアダクト部分



↑ 窓まぐさ周辺充填部分

ボード形状の断熱材を充填する為

高品質な施工が可能



弊社取扱い断熱材の中から

断熱レベルに応じて最適な断熱材を選定いたします。

全て工場製造の安定した品質の規格品

を使用する為、高品質な断熱施工が可能になります。



↑ 通常充填部分・配線箇所

配線・配管箇所の
加工も
お任せください！



↑ 電気配線部分



【サットウォール工法施工モデル住宅 断熱】

天井断熱:旭ファイバーグラス製 アクリアマット 16K 200mm厚

壁 断 热:カネカケンテック製 カネライトフォーム EX 100mm厚

床 断 热:谷本化成製 サットフォーム GP250 100mm厚

サッシ:YKK製 APW330(真空トリプルガラス仕様)

※サットフォーム GP250は受注生産品です。

イメージキャラクター さっと君



カネライト
フォーム

FX 一充填断熱のみーで **G2 グレード実現！**

熱伝導率 : 0.022w/ (m・k)



天井: 185 mm
熱抵抗値 8.4



※この厚みは一例となります。
厚みの算出は都度計算が必要です。

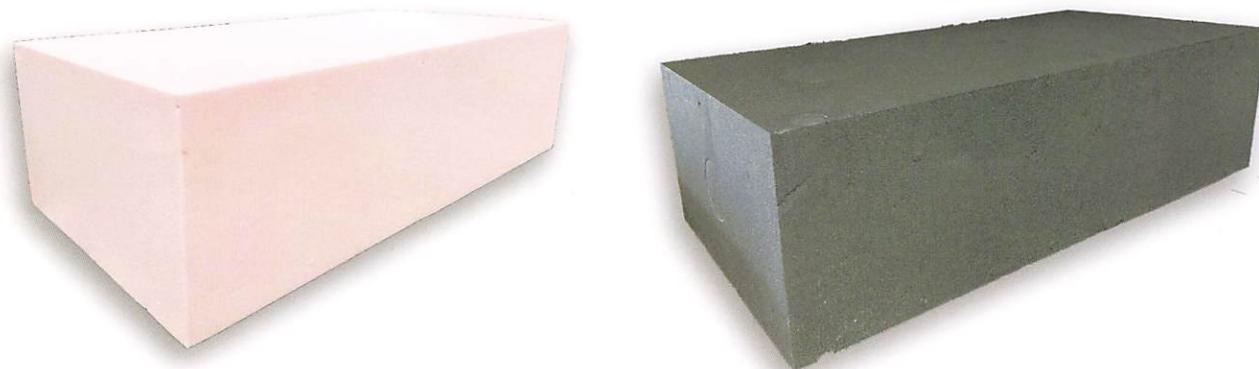


床: 100 mm
熱抵抗値: 4.5



壁: 70 mm
熱抵抗値: 3.1

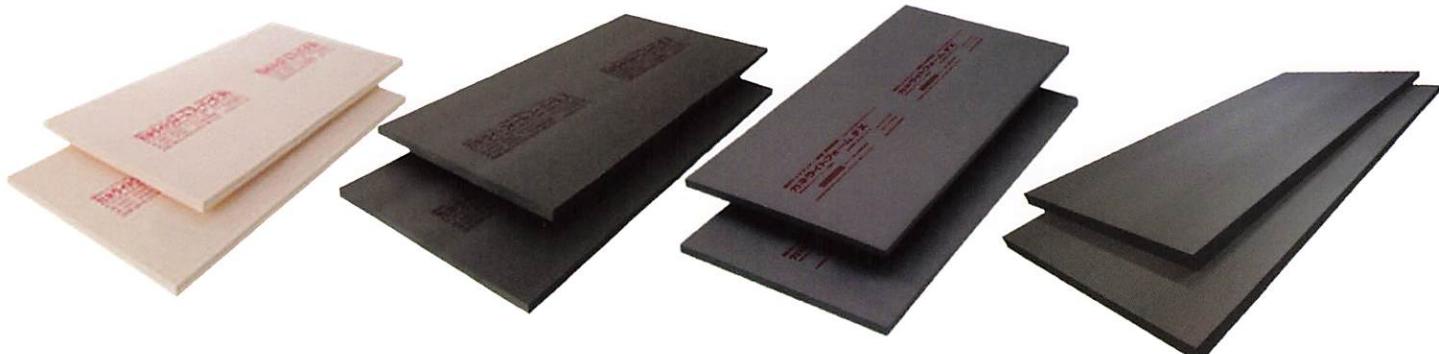
ビーズ法ポリスチレンフォームの特長



- ①断熱性 小さな空気の部屋（独立気泡）で構成され、空気の対流が少ないので熱が伝わりにくい。
- ②燃焼性 完全燃焼する場合、有毒ガスを排出しない。
- ③自己消化性 火源を取り除けば燃えない性質。
- ④環境ホルモンが含まれていない為、環境に優しい。
- ⑤シックハウス対策（ノンホルムアルデヒド）商品。
- ⑥グリーン購入法適合商品。



押出法ポリスチレンフォームの特長



カネライトフォーム
スーパーE-III

カネライトフォーム
スーパーEX

カネライトフォーム
スーパーFX

カネライトフォーム
 α

- ①断熱性 小さな空気の部屋（独立気泡）で構成され、空気の対流が少ないので熱が伝わりにくい。
- ②燃焼性 完全燃焼する場合、有毒ガスを排出しない。
- ③自己消化性 火源を取り除けば燃えない性質。
- ④透湿性能 水を通しにくい素材。
- ⑤シックハウス対策（ノンホルムアルデヒド）商品。

《ポリスチレンフォーム取扱上の注意事項》

■火気注意

火気に接触すると燃えます。燃えると黒煙を発生します。また、発泡剤として可燃性ガスを使用しています。発泡剤は発泡成形後も製品内に一部残留し、徐々に逸散しますが、発泡剤は空気よりも重く、溝やピットなど掘り下げたところや閉鎖的な空間に滞留しやすい性質を持っています。発泡剤の濃度が爆発下限界を超えた状態で火源に接した場合、燃焼する可能性が高くなります。

従って輸送・保管・施工に際しては、火気と換気に十分注意してください。特に付近で溶接、溶断といった火気を使用する際は、火花等があたらないう確実に養生するとともに適切に換気してください。

■紫外線注意

直射日光に長時間（2～3日以上）さらすと徐々に表面から変色・劣化し、接着不良、厚み減少等の原因になりますので、保管にあたっては養生シートで覆い施工後は仕上げを速やかにおこなつください。

■有機溶剤注意

アルコール系以外の有機溶剤・石油類には侵されますので、使用接着剤・塗料の選択又は、木造住宅の防腐・防蟻薬剤の選定及び、使用方法についても事前にそれらのメーカーにお問い合わせください。

溶剤を使って作業する場合は十分換気し、火気を使用しないでください。

■割れ踏み抜き注意

局部荷重や衝撃には弱く割れやすい材料です。

下地の無い箇所には乗らないでください。

根太やたる木の上を歩いてください。

■高温注意

使用温度は70°C以下です。70°Cを超えると徐々に変形し始めますので、高温での使用はさけてください。

黒色系フォームは、吸熱しやすい性質がありますので、屋外での保管は遮光性のあるシート等で覆ってください。尚、透明のシートは内部が高温になりやすくなりますので、使用しないでください。

■強風注意

軽量で取扱いが容易な反面、風にあおられやすいので強風下での作業は、行わないでください。また、保管にあたっては上に重りをのせるかロープ掛け等で、飛散防止措置をしてください。

■その他の注意

1. 切削等でフォーム屑が発生する取扱いを行う場合には集塵設備を設けるか、防護マスク等の保護具を着用してください。
2. フォーム屑が目に入った場合はこすらないで流水で洗浄してください。
3. 熱線スライス等煙の発生する作業をする場合は、換気を十分行ってください。
4. 廃棄の際には、条例に従って処理してください。燃やすと黒煙（スス）がでますのでご注意ください。
5. 鳥・ねずみ・昆虫等によって損傷を受けることがあります、栄養源や餌にはなりません。

注意事項に関しては、一般的取扱いを対象としたものです。
ポリスチレンフォームは主として断熱材として使われることを想定しています。それ以外の使用については、お問い合わせください。



谷本化成株式会社

本社

〒664-0023 兵庫県伊丹市中野西2丁目192番

TEL (072) 772-0607

FAX (072) 772-0608

E-mail tanimoto@tanimotokasei.co.jp

●お問い合わせは